

東京都立八王子桑志高等学校 令和8年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	商業・ビジネス情報	科目：	課題研究	単位数：	3	指導学年：	3学年
担当教諭：							
使用教科書	なし	副教材	なし				

年間指導目標：
・3年間の集大成として、今まで学んだ知識や技術を活かし、ビジネスプランを考察する。
・マーケティングの知識を活かし、校内での不満などを集約し改善策を考察する。
・完成したプランを実現できるかどうかを検証し、1月に行う課題研究発表会でプレゼンテーションを行う。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	・1年次から学んだ知識・技術（会計・マーケティング・情報処理）を活かし、学校生活での不満や不便さをリサーチし集約することができる ・リサーチした結果を検証し、改善策を考案し実行できるかどうかを試す。 ・課題研究発表会に向けてのプレゼンテーションの準備とデータをまとめる	・市場調査（マーケットリサーチ）の結果を集計・集約し、その結果を踏まえて改善プランを考え、提案できる。 ・改善プランを実際に行えるかどうかを検証し、実現できるプランを考える ・プレゼンテーションにおいて、わかりやすく、伝わりやすいものを考える	・自身で課題を見つけ研究し提案していく力を身につける ・チーム内でのコミュニケーションを取り、役割分担をしっかりと決めることができる ・自身の役割については、リーダーシップを発揮し、研究・考案したものを提案することができる

評価方法											配当 時数
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度							
学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e		
1 学期		・ 同じ研究内容の生徒同士 でチームを組んで取組内容 （研究テーマ）について、 決定する ・ 1年間の取組のスケ ジュールを組む ・ 市場調査（マーケット・ リサーチ）を行い、各チー ムのテーマについて考察す る	(知)	・ 1年次から学んだ知識・技術（会計・マーケ ティング・情報処理）を活かし、学校生活での不 満や不便さをリサーチし集約することができる		○				15	
			(思)	・ 市場調査（マーケットリサーチ）の結果を集 計・集約し、その結果を踏まえて改善プランを考 え、提案できる		○		○			
			(態)	・ 自身で課題を見つけ研究し提案していく力を身 に付ける。 ・ チーム内でのコミュニケーションを取り、役割 分担などがしっかりとできる		○		○	○		
1 学期		・ 市場調査の結果を踏まえ て、各チームで決定した テーマについてももう一度振 り返り、変更点や改善点を 考察する。 ・ 考案したテーマについ て、研究を行い実行する。	(知)	・ リサーチした結果を検証し、改善策を考案しす る		○				27	
			(思)	・ 改善プランを実際に行えるかどうかを検証し、 実現できるプランを考える。		○		○			
			(態)	・ 自身で課題を見つけ研究し提案していく力を身 につける。 ・ チーム内でのコミュニケーションが取り、役割 分担などがしっかりとできる。		○		○	○		

2 学 期		・実行した結果を踏まえて、うまくいった点・改善しなければならない点を考察する。	(知)	・リサーチした結果を検証し、改善策を考案する		○				30
		・改善点について、研究し実行する。	(思)	・改善プランを実際に行えるかどうかを検証し、実現できるプランを考える		○		○		
			(態)	・自身で課題を見つけ研究し提案していく力を身に付ける ・チーム内でのコミュニケーションが取り、役割分担などがしっかりできる		○		○	○	
2 学 期		・これまで、研究したテーマについて、まとめ報告書を作成する。	(知)	・課題研究発表会に向けてのプレゼンテーションの準備とデータをまとめる		○				30
		・授業内でそれぞれのチームの報告会を行い、他のチームの意見を聞いて改善点を考察する。	(思)	・プレゼンテーションにおいて、わかりやすく、伝えやすいものを考える		○		○		
		・課題研究発表会に向けて、発表する内容やプレゼンテーションの準備を行う。	(態)	・自身の役割については、リーダーシップを発揮し、研究・考案したものを提案することができる		○		○	○	
3 学 期		・課題研究発表会のデモンストレーションを行い、問題点・改善点を見つけ、修正を行う。	(知)	・課題研究発表会に向けてのプレゼンテーションの準備とデータをまとめる。また、実際のデータを取り入れて、聞き手が見やすくわかりやすいものをつくる		○				15
		・学習成果発表会で発表を行う。	(思)	・プレゼンテーションにおいて、わかりやすく、伝えやすいものを考える。また、どのような言葉で話をすれば理解度が上がるかを考えることができる		○		○		
			(態)	・自身の役割については、リーダーシップを発揮し、研究・考案したものを提案することができる		○		○	○	
合計										117

東京都立八王子桑志高等学校 令和8年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	産業・ビジネス情報	科目：	ビジネス法規	単位数：	2	指導学年：	3
担当教諭：							
使用教科書	ビジネス法規（実教出版）		副教材	ビジネス法規問題集（実教出版）			

年間指導目標：

- ・ビジネスに必要な法に関する基本的知識を習得させる。
- ・経済社会における法の意義や役割について理解させるとともに、経済事象を法律的に考え、判断する能力と態度を育成する。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	・授業内の内容について理解できたか定期考査を実施して評価する。 ・授業内で小テストを実施し、単元ごとの理解度を測る。	・授業の中で課題を指示し、調べ学習の成果を評価する。 ・調べた内容が薄いものかより鮮明に研究されたものかなどを評価する。	・授業外で課題・宿題を出し、提出状況を評価する。 - 提出物の内容が自身で考察しながら書かれているかどうかを評価する。

評価方法											配当 時数
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度							
学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e		
1 学期	中 間 考 査 (授 業 内)	第 1 章 法の概要 第 2 章 権利・義務と財産権 1. 権利・義務とその主体 2. 物と物権・債権 3. 知的財産権	(知)	・実社会において、どんな権利と義務があるのかを理解しているか。 ・知的財産権の種類とその意味について理解している。	○		○			12	
			(思)	・権利と義務について、事例を参照しながら自身で納得できているか。 ・物権について理解し実社会での取引にも関連していることを考察できているか。		○					
			(態)	・義務や権利の種類や意味を理解するために積極的に説明を聞き、内容をまとめているか。 ・知的財産権の意味を理解して、板書などを行っているか。				○	○		
1 学期	期 末 考 査 (授 業 内)	第 3 章 財産権の変動 1. 契約 2. 物の売買 3. 物の貸借 4. 不法行為 5. 時効	(知)	・契約について、法律的な効力と意味を理解しているか。 ・物の賃借について、法律を理解し不法行為や時効などの意味を理解しているか。	○		○			12	
			(思)	・事例をもとに、実社会ではどのような契約があるかを自身で考えているか。 ・自身でどんな場面で契約が発生するかを想像し、その意味を考えているか。		○					
			(態)	・板書をしっかり取り、理解しようと努力しているか。 ・グループ学習で積極的に発言しようとしているか。				○	○		

2 学期	中間 考 査 （授 業 内）	第4章 企業活動と法規 1. 企業活動の主体 2. 株式会社の特徴と期間 3. 資金調達と金融取引	(知)	・民法と商法の存在意義について、誰のためにな んのためにあるのかを理解している。 ・企業の責任として、コンプライアンスの必要性 と重要性について理解している。	○		○			16	
		第5章 企業責任と法規 1. 法令遵守と説明責任 2. 労働者の保護 3. 消費者の保護 4. 情報の保護	(思)	・どんな場面で民法・商法が活かされているかを 考察できている。 ・労働者の保護や消費者の保護について、自身で 考えて判断できている。			○				
			(態)	・宿題や課題などにしっかりと取り組んでいる。 ・民法や商法で定められている制度について、考 えて授業に取り組んでいる。					○		○
2 学期	期 末 考 査 （授 業 内）	第6章 1. 紛争の解決 2. 紛争の予防	(知)	・紛争について、裁判などのしくみや調停などの システムを法的に理解している。 ・企業に関する税のしくみについて、理解してい る。	○		○			16	
		第7章 税と法規 1. 税の種類と法人の納税 義務	(思)	・裁判のしくみや裁判員制度など自身で考えて社 会のしくみを理解しようとしている。 ・税金の納税義務について、税金の種類やそのシ ステムについて考えて理解しようとしている。			○				
			(態)	・裁判のしくみや流れを理解するのに自分なりに 考えて取り組んでいる。 ・宿題・課題等にとしっかりと取り組んでいる。					○		○
3 学期		2. 法人税の申告と納付 3. 消費税の申告と納付	(知)	・法人に関わる税の仕組みと納付方法を理解して いる。 ・消費税の仕組みと申告・納税方法について理解 している。	○		○			22	
			(思)	・法人税の申告・納付方法を自身で考えて理解し ようとしている・ ・消費税のしくみや申告・納付納付方法を具体的 にイメージできている。			○				
			(態)	・課題や宿題に積極的に取り組んでいる。 ・授業内での取り組みに積極性がうかがえる。					○		○
合計										78	

東京都立八王子桑志高等学校 令和8年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	産業・ビジネス分野	科目：	情報実践	単位数：	4	指導学年：	3学年
担当教諭：							
使用教科書			副教材	学校独自の手引き（情報実践テキスト）			

- 年間指導目標：
- ・社会人としてのビジネスマナーを身につけるために、服装や挨拶・勤務時間・勤務態度を徹底し実社会においての即戦力を育てる。
 - ・企業内においての事務業の流れを実践的にを行い、伝票の記入から会計ソフトの入力方法を学び実践力を身につける。
 - ・模擬取引を行い、商品の流れや商談の仕方、商談メールの作成など取引相手とのやり取りの仕方を実践的に学ぶ。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	・取引における手順を理解し、商品の流れ、仕入価格・販売価格を実現できる利益の範囲内で実践的に考えさせ、実践的に取引を行い、利益計算までできるようにする。 ・1年間の取引を行ったあとの決算処理の方法と処理の仕方について理解し、決算報告書を作成する。	・取引の作業を行う上で、伝票や書類の作成が正確・かつ丁寧に記入できる。 ・仕事の作業手順やスピードなど適正に行うことができる。 ・帳簿上と会計ソフトの数値が一致し、決算報告がきちんとなされている。	・ビジネスマナーを意識し、服装や言葉遣い、上司や取引相手への対応がしっかりできている。 ・グループウェアを活用して取引相手や社員とのコミュニケーションを取り、よい関係を築いて仕事を行っている。 ・自身の仕事を正確・丁寧にを行い、他の社員と協力・分担して行っている。

評価方法											配当 時数
a:定期考査		b:パフォーマンス (実技・実習・課題)		c:小テスト等		d:自己評価		e:授業態度			
学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e		
1 学 期		・企業の開業業務について、必要な書類（伝票・出納帳・開業届などの書類）を正確に作成し・経費の支払い、帳簿記入・会計ソフトへの入力を行う。 ・商品の流れ、物産から仕入、各商事への販売までの流れを理解し、そこで生じる書類作成・伝票記入など事務処理を学ぶ。グループウェアを適切に活用できるようにする。	(知)	・取引における手順を理解し、商品の流れ、仕入価格・販売価格を実現できる利益の範囲内で実践的に考えさせ、実践的に取引を行い、利益計算までできるようにする。		○				32	
			(思)	・取引の作業を行う上で、伝票や書類の作成が正確・かつ丁寧に記入できる。 ・仕事の作業手順やスピードなど適正に行うことができる。		○					
			(態)	・ビジネスマナー（服装や言葉遣い、上司や取引相手への対応）がしっかりできている。 ・自身の仕事を正確・丁寧にを行い、他の社員と協力・分担して行っている。				○	○		
1 学 期	期 末 考 査	・他市場同士で売買をおこない、仕入れた商品を他市場へ販売し仕入・売上の処理を行う。また、費用や収益を計算し、帳簿に記帳する。 ・各商事が持っている商品を物産に販売し、売上・利益計算をおこない、帳簿に記入し、会計ソフトに入力する。	(知)	・取引における手順を理解し、商品の流れ、仕入価格・販売価格を実現できる利益の範囲内で実践的に考えさせ、実践的に取引を行い、利益計算までできるようにする。	○	○				32	
			(思)	・取引の作業を行う上で、伝票や書類の作成が正確・かつ丁寧に記入できる。 ・仕事の作業手順やスピードなど適正に行うことができる。	○	○					
			(態)	・ビジネスマナー（服装や言葉遣い、上司や取引相手への対応）がしっかりできている。 ・自身の仕事を正確・丁寧にを行い、他の社員と協力・分担して行っている。				○	○		

2 学 期		・1学期にやった取引を自由取引にし、各自で取引相手を見つけ、営業を行う。 取引が成立すると、取引の一連の流れを各企業で進める。 ・従業員への給与支払いの処理や火災保険料など企業が存続するうえでの経費についても、計算し支払いまでおこなう。	(知)	・取引における手順を理解し、商品の流れ、仕入価格・販売価格を実現できる利益の範囲内で実践的に考えさせ、実践的に取引を行い、利益計算までできるようにする		○				32
			(思)	・取引の作業を行う上で、伝票や書類の作成が正確・かつ丁寧に記入できる ・仕事の作業手順やスピードなど適正に行うことができる		○				
			(態)	・ビジネスマナー（服装や言葉遣い、上司や取引相手への対応）がしっかりできている。 ・自身の仕事を正確・丁寧に言い、他の社員と協力・分担して行っている				○	○	
2 学 期		・自由取引を3回転させ、費用や経費の支払いや売上・利益計算をおこなう。 ・取引を重ねていく中で、売上や経費の増減を把握し企業の経営状態を各自で考え、分析を行う。	(知)	・取引における手順を理解し、商品の流れ、仕入価格・販売価格を実現できる利益の範囲内で実践的に考えさせ、実践的に取引を行い、利益計算までできるようにする。		○				36
			(思)	・取引の作業を行う上で、伝票や書類の作成が正確・かつ丁寧に記入できる。 ・仕事の作業手順やスピードなど適正に行うことができる。		○				
			(態)	・ビジネスマナー（服装や言葉遣い、上司や取引相手への対応）がしっかりできている。 ・自身の仕事を正確・丁寧に言い、他の社員と協力・分担して行っている。				○	○	
3 学 期		・1年間の取引を終了し、決算業務を行う。決算報告書一式（貸借対照表・損益計算書・出納帳各種・試算表・伝票類など）を作成しまとめる。 ・1年間取引を行ってきた内容を報告書としてまとめ、提出する。	(知)	・1年間の取引を行ったあとの決算処理の方法と処理の仕方について理解し、決算報告書を作成する。		○				24
			(思)	・取引の作業を行う上で、伝票や書類の作成が正確・かつ丁寧に記入できる。 ・仕事の作業手順やスピードなど適正に行うことができる。		○				
			(態)	・ビジネスマナー（服装や言葉遣い、上司や取引相手への対応）がしっかりできている。 ・自身の仕事を正確・丁寧に言い、他の社員と協力・分担して行っている。				○	○	
									合計	156